

川越ロータリークラブ 会報 No.28



2025年2月4日 第3511回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：102名 免除出席者：2名 正会員出席者：55名 出席者：57名 早退：0名 出席率：55.8%

プログラム

点鐘（12：30）／国家：君が代、ロータリー
ソング（第1例会：奉仕の理想）／ビジター・
お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／
幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス
／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：
八木SAA〉

《ビジター・お客様紹介》なし

《卓話講師紹介》小玉 祐一様 明治安田総合
研究所 フェロー／チーフエコノミスト

会長の時間



2024-25年度 会長 西川 孝博
理事会報告

1. 新会員推薦について
理事会承認を得られた為、今後
全会員に通知。
2. 名誉会員退会について

川合現市長の任期が2月7日までの為、任
期終了とともに退任で理事会承認。

3. 会費検討特別委員会の設置について
当年度の会長・幹事・会計監事、次年度会
長・幹事で委員会を立ち上げる。
4. 2026年75周年記念式典について
令和8年11月28日(土)川越プリンスホテ
ルにて開催決定。
5. その他
 - ・小江戸川越春まつりの協賛可決
 - ・小江戸川越まちかどモーターギャラリー
後援可決
 - ・旧町名石碑設置 川越市への寄付事業とし
て特別事業積立金より予定

◆バギオ訪問団 山口裕会員、栗林会員が川越
RCを代表して参加決定。

会長の時間

令和6年度第27回川越市姉妹都市交流委員
会が1月29日16時30分より川越プリンスに
て開催され出席しました。国内姉妹友好都市と
して、棚倉町、小浜市、中札内村。海外は、ア
メリカのセーレム市、フランスのオータン市、
ドイツのオッフエンバッハ市との交流事業の報
告がありました。何れの都市との交流事業も活
発に行われており、令和7年度も引き続き継続
される予定です。

ロータリークラブの名称は、例会を会員の職
場を巡回しながら開催することに由来していま
す。それではいつから巡回例会をやめてホテル
で開催し、昼食をとりながらの例会形態になっ
ていったのか疑問に思い調べてみました。

シカゴロータリークラブの第1回の例会は、
1905年2月23日、その時の4人のメンバーが
鉦山技師の事務所に集まり、第2回は同年3月
9日、7人のメンバーがポールハリス弁護士事
務所に集まりました。ある例会でチャールズニ
ュートンが遅刻し50セントの罰金を求められ
た際、彼は会合に来る前に夕食をしていたがそ
の食事に時間がかかってしまったため、罰金を
拒んだというエピソードがあり、それなら全員
でレストランで夕食を済ませて持ち回りの事務
所に移動して例会を開催することになりました。
その後、シカゴロータリークラブの会員数
が増え続け、レストランでは例会が開けなくな
りホテルに会場を移すことになったようです。

またカリフォルニアのオークランドロータリ
ークラブは、シカゴ、サンフランシスコに続く

3番目に大きなロータリークラブで、オークランドホテルにて昼食例会を恒常化した最初のクラブとなります。

日本では、1920年創設東京ロータリークラブがホテルで昼食例会を取り入れて、こののち日本のロータリークラブの大半がホテルもしくは会議場で昼食例会形式を取り入れています。

ロータリークラブの例会が、設立当初の会員事務所での持ち回り形式からホテルなどでの会場形式に変わっていったのも、ロータリークラブの理念や活動が多くの人に受け入れられ、会員数が増加した結果という事を考えると喜ばしい変化だといえます。

幹事報告



2024-25年度 幹事 齊藤 智

- ・2月のロータリーレート
1ドル154円(157円/1月)
- ・配布物：会報、R財団寄付領収書、小江戸まちかどモーターギャラリーの案内、IM組織図の詳細版、抜萃のつづり(その84)、卓話資料回覧：ガバナー月信2月号(地区HPより)
- ・次週2/11 祝日につき休会

委員長報告

- ・次週卓話(2/18)：イニシエーションスピーチ
小林(徹)会員、鬼頭会員

ニコニコボックス

●本日の卓話担当は、鈴木崇生会員です。卓話講師明治安田生命、フェロー/チーフエコノミスト・小玉祐一様宜しくお願ひ致します。<会長、幹事>

●本日の卓話担当をさせていただき、明治安田総合研究所小玉祐一氏より「2025年経済見通し」をお話しいたします。どうぞよろしくお願ひします。<鈴木(崇)>

●明治安田総合研究所小玉祐一様、本日の卓話経済見通し、熱心に拝聴させていただきます。<片山、相原、野溝、神谷、古尾谷、和田(尚)、小谷野、山田(哲)、小杉、近藤、住谷、和田(喜)、蓼沼、小橋、水村、山崎(共)、久保田、藤井、小高、中野(文)、三田、坂口、馬場(弘)、石井、

吉澤、須賀、上原、馬場(常)、廣瀬、西澤、金剛>

●山口裕会員、栗林会員が2月8日～11日の第46回バギオ訪問交流の旅に参加されます。奨学金贈呈式、シスター海野のお墓参り等しっかりお役目を果たしてきて下さい。<野溝、吉澤>

●5月11日に川越まちかどモーターショーを予定しております。どうぞよろしくお願ひ致します。<荻原、小川、山田(哲)、廣瀬、西澤、島村> (敬称略) 合計46,000円

卓話

○卓話講師：小玉 祐一様 明治安田総合研究所 フェロー/チーフエコノミスト

演題：2025年の経済見通し～日米の政局大転換で潮流は変わるか～

◆経済見通しの概要

米国経済は、良好な所得環境が個人消費を下支えすることで、底堅い推移が続くと予想。今後はトランプ氏の政策による、減税は景気を刺激、関税がどう影響するかが大きなポイントとなる。目先はいい状況だが、3、4年目には尻すぼみが予想される。ユーロ圏経済は最悪期を脱した模様だが、当面は低空飛行と予想。中国景気は回復しつつあるが、不動産市場の低迷は続いており、来年にかけても停滞気味の推移が続くと予想される。日本経済は実質賃金のプラス転換を背景とした個人消費が下支えとなり、緩やかな回復基調が続くと予想される。

◆金融政策の見通し

米国は昨年9、11、12月と利下げ、今年は2回に(米国経済堅調)。日本に関しては、日銀は2025年末までに政策金利を1%まで引き上げると見込む。

◆トランプ関税は米国も返り血を浴びる。

トランプ関税は、国内物価を押し上げるため、中国経済より米国経済へのダメージが大きくなる可能性もある。

◆金融市場の動向

米株は大幅な金融緩和観測の後退により足踏み。日本株は、トランプ関税への警戒感や、日銀の追加利上げ観測が重しだが、米株が持ち直せば追従も期待できる。

